

## 地方創生の特効薬：インフラツーリズム

### －インフラツーリズム推進会議の始動－

#### 1. 機は熟せり：インフラツーリズム

インフラツーリズムは、社会インフラを対象としたツアー、イベント、企画を総称し、地方創生の切り札であることは論を待たない。

社会インフラを構成する土木構造物は、元来見る者を惹きつける要素を具備しており、既に、社会見学や現場見学、インターンシップ、パネル展など、全国津々浦々で展開していることから分かる。旅行会社による有料ツアーも盛んで、すこぶる好評と聞いている。関係官庁/行政による社会実験などの報告も受けている。

さて、ことほど左様に百花繚乱の如く隆盛を極めるインフラツーリズムではあるが、本文では、まずはインフラツーリズムを再整理し、次なる戦略と活動について報告させていただきたい。

#### 2. インフラツーリズムを再整理すると

\*\*\*\*ismと銘打つのであれば、主義・主張を持つことになる（JournalとJournalismとは明らかに違う）が、改めて下記のように整理したい。

▶インフラツアーInfrastructure Tour:

個々の現場見学、体験型ツアーなどの企画やイベントを指す。就活生を対象としたone dayインターンシップも含まれると考える。

▶インフラツーリズムInfrastructure Tourism:

エコツーリズムやグリーンツーリズムなどの先進型ツーリズムの一つで、社会インフラを対象としたツーリズム。土木観光学とも邦訳されるが、近年多種多様な試みがなされ、観光学の域を出ている。

また、インフラツアーの分類と形態については、表-1のような、国土交通省総合政策局による提案（9分類）を示したい。

表-1 インフラツアーの9つのテーマ分類

- |                   |
|-------------------|
| A. 「風物詩を彩る」編      |
| B. 「歴史的遺産」編       |
| C. 「年に一度だから楽しい」編  |
| D. 「観光名所」編        |
| E. 「アイデア勝負」編      |
| F. 「今が旬です！」編      |
| G. 「地域に根付くインフラ」編  |
| H. 「レアもの・秘境・再発見」編 |
| I. 「いっぱいお勉強」編     |

これは、地域毎に鋭意実践されているインフラツアー（現場見学）の特徴や志向を吟味して、分類したものであり、ツーリズムの体系化に繋げたい。

#### 3. インフラツーリズム推進会議の設立

このような背景のもと、本年度当初からの準備会議を経て、‘インフラツーリズム推進会議（以下、「推進会議」という）’を設立した。東京都市大学、国土交通省、ゼネコン、建コン、JTB関東など、文字通り産官学の横断的な組織によるものである（初年度は、小生が議長を務めます）。

発足に際して、取り組み内容（アクティビティの基本方針）として下記の3点を掲げた。

- ① 広報啓発：社会インフラと土木技術に関する広報と啓発理解の促進に資すること
- ② 地域連携：社会インフラを活用した地域連携を探り、その実践に資すること
- ③ 人材育成：社会インフラと国土の守り手となる人材の育成に資すること

なお、推進会議の発足に至るまで、いくつかのWebサイトやSNSにより情報発信しており、主要なものを末尾に付したので参照いただきたい。これまで、（事実上）数年の準備期間と試行期間があったことを付記したい。

東京都市大学 工学部 都市工学科  
教授

よし かわ ひろ みち  
吉川 弘道



#### 4. 推進会議の当面の活動

インフラツーリズム推進会議の初年度となる平成29年度では、下記3点が進行中である。

○インフラツーリズムPortal Site：国土交通省総合政策局

本Webサイトは、「明日の日本を支える観光ビジョン（議長：内閣総理大臣）」に呼応するもので、国土交通省総合政策局により、昨年度から企画/公開されているが、推進会議としても鋭意支援する。

ここでは、全国各地でのインフラツアーの実践事例を現場見学と民間主催ツアーに分け地域毎に紹介している。加えて、各地のインフラツアーをパネル化し、現時点で104パネルを公開している。

○大学生観光まちづくりコンテスト2017

これは、大学生が地域の観光を通じたまちづくりプランを競い合うコンテストで、平成23年度より毎年開催されている（主催：大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会）。毎年、全国の大学生が参加し、ユニークな観光まちづくりが提案され、コンテストを盛り上げている。

今年度、新たに「インフラツーリズムステージ」を立ち上げ、当推進会議が協力団体として携わっている。社会インフラを題材としたユニークな提案や企画を楽しみにしている（インフラツーリズムステージには、過去最高の54大学、98チームがエントリー）。

○ワークショップの開催（11月初旬の予定）

さらに、インフラツーリズム推進会議の正式なキックオフとして、ワークショップの開催を決定している。

すべてのセクターからの参加による情報交換と意見交換を行うことにより新たな成果が得られる

ことを期待している。当日のメニューとしては、大学生観光まちづくりコンテスト2017の優秀作品のプレゼン、各地でのインフラツアーの実践事例の報告、などを予定している。

#### 5. インフラツーリズム2.0：次なるステップへ

さて、地方創生に資するインフラツーリズムには大きな期待が寄せられていることは間違いない。インバウンド戦略として、観光立国として、実効ある地方創生として、インフラツーリズムを推進するのであれば、「インフラツーリズム2.0」としての発想と覚悟が必要である。

##### 【推進会議の基点となるWebサイト】

(1)インフラツーリズム（Portal Site）：国土交通省公式HP  
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/infratourism/>



(2)土木ウォッチング：インフラ大図鑑/土木構造物写真集  
（主宰：東京都市大学 吉川弘道）  
<http://www.doboku-watching.com/>



(3)大学生観光まちづくりコンテスト2017（主催：コンテスト運営協議会）：<http://gaku-machi.jp/>

